



## 平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 大倉工業株式会社

コード番号 4221 URL <http://www.okr-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高浜 和則

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務取締役コーポレートセンター担当兼経理部長 (氏名) 豊田 員史

TEL 0877-56-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	20,473	△4.1	768	208.1	682	303.7	428	289.7
27年12月期第1四半期	21,352	△5.5	249	△49.8	169	△56.3	109	△50.5

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △760百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 771百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	7.18	—
27年12月期第1四半期	1.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	83,208		37,531		45.1	
27年12月期	87,801		38,739		44.1	

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 37,523百万円 27年12月期 38,731百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	7.50	7.50
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,500	△0.9	1,020	△13.7	1,020	△10.1	500	△33.6	8.38
通期	85,500	△0.6	2,400	2.0	2,400	3.2	1,250	4.9	20.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	62,074,351 株	27年12月期	62,074,351 株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	2,441,519 株	27年12月期	2,438,283 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	59,634,955 株	27年12月期1Q	59,657,286 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2P「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国経済の減速や年明け以降進んだ急激な円高・株安の影響等によって、次第に景気停滞色が強まってまいりました。

このような状況のもと、当社グループでは、新規材料事業においてスマートフォンやタブレット端末向け光学フィルムの販売数量が減少したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は204億7千3百万円と前年同四半期比4.1%の減収となりました。

利益面では、合成樹脂事業における原材料価格低下の影響等により、営業利益は7億6千8百万円（前年同四半期比208.1%増）、経常利益は6億8千2百万円（前年同四半期比303.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、新基幹システム導入計画の見直しに伴う固定資産除売却損127百万円を計上したこと等から4億2千8百万円（前年同四半期比289.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 〔合成樹脂事業〕

シュリンクフィルムやラミネートフィルムを中心に販売数量が増えたものの、販売単価引き下げの影響により、売上高は119億2千8百万円（前年同四半期比1.2%増）にとどまりました。営業利益は原材料価格が低下したうえにコスト削減にも努めた結果、9億8千2百万円（前年同四半期比61.1%増）となりました。

#### 〔新規材料事業〕

世界的なスマートフォンの販売落ち込みの影響により光学フィルムの販売数量が減少したため、売上高は50億9千2百万円（前年同四半期比19.2%減）となりました。営業利益は新工場の損益改善効果により6百万円（前年同四半期は営業損失2千9百万円）となりました。

#### 〔建材事業〕

パーティクルボードの販売数量が引き続き伸びたため、売上高は19億9千9百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。営業利益は安定生産のための予防保全費用が増えたため2千7百万円（前年同四半期比23.6%減）となりました。

#### 〔その他〕

木材加工（プレカット）事業並びに宅地造成及び建物建築事業の売上が増加したため、売上高は14億5千3百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。営業利益は前年同四半期に多額の貸倒引当金を積み増した反動増もあり1億4千万円（前年同四半期比250.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ45億9千3百万円減少し、832億8百万円となりました。その主な内訳は、受取手形及び売掛金など流動資産の減少23億9千1百万円、投資有価証券など固定資産の減少22億2百万円によるものであります。

一方、負債につきましては、長期借入金など固定負債の増加4億4千7百万円がありましたが、支払手形及び買掛金など流動負債の減少38億3千1百万円により、前連結会計年度末に比べ33億8千4百万円減少し、456億7千7百万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金の減少11億8千9百万円などにより、前連結会計年度末に比べ12億8百万円減少し、375億3千1百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.0ポイント上昇し、45.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

### (4) 追加情報

(賞与引当金)

当第1四半期連結累計期間においては、従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当第1四半期連結累計期間に属する額を賞与引当金として計上しております。

なお、前連結会計年度においては、前連結会計年度に属する従業員への賞与支払額は確定しており、かつその全額を前連結会計年度末までに支給しているため賞与引当金は計上しておりません。

(固定資産除売却損)

固定資産除売却損には、新基幹システム導入計画の見直しに伴い、これまで固定資産に計上しておりました導入費用127百万円の除却が含まれております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,385	6,953
受取手形及び売掛金	25,534	23,370
電子記録債権	1,633	1,500
有価証券	56	49
商品及び製品	4,691	5,005
仕掛品	964	952
原材料及び貯蔵品	3,052	2,959
販売用不動産	156	175
繰延税金資産	145	353
その他	523	431
貸倒引当金	△22	△21
流動資産合計	44,120	41,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,056	17,749
機械装置及び運搬具(純額)	8,435	8,000
土地	6,489	6,489
建設仮勘定	583	463
その他(純額)	421	412
有形固定資産合計	33,987	33,114
無形固定資産	355	316
投資その他の資産		
投資有価証券	8,624	6,897
繰延税金資産	83	522
その他	703	700
貸倒引当金	△72	△73
投資その他の資産合計	9,338	8,047
固定資産合計	43,680	41,478
資産合計	87,801	83,208

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,808	15,484
短期借入金	9,377	8,391
1年内返済予定の長期借入金	3,036	2,993
リース債務	568	388
未払法人税等	602	283
設備関係支払手形	12	7
賞与引当金	—	584
その他	5,975	5,415
流動負債合計	37,381	33,549
固定負債		
長期借入金	6,704	7,311
リース債務	20	14
繰延税金負債	140	18
退職給付に係る負債	3,755	3,772
その他	1,058	1,010
固定負債合計	11,679	12,127
負債合計	49,061	45,677
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	19,133	19,114
自己株式	△833	△834
株主資本合計	35,988	35,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,800	1,610
為替換算調整勘定	179	175
退職給付に係る調整累計額	△237	△231
その他の包括利益累計額合計	2,742	1,555
非支配株主持分	8	7
純資産合計	38,739	37,531
負債純資産合計	87,801	83,208

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	21,352	20,473
売上原価	18,817	17,464
売上総利益	2,534	3,009
販売費及び一般管理費		
販売手数料	41	48
運送費及び保管費	648	667
給料	494	499
賞与引当金繰入額	125	155
役員報酬	72	70
退職給付費用	36	32
減価償却費	38	43
研究開発費	302	210
貸倒引当金繰入額	46	△0
その他	479	515
販売費及び一般管理費合計	2,285	2,241
営業利益	249	768
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	5	2
為替差益	8	—
雑収入	25	19
営業外収益合計	41	23
営業外費用		
支払利息	71	56
為替差損	—	41
持分法による投資損失	39	—
雑損失	11	10
営業外費用合計	121	108
経常利益	169	682
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	36	132
特別退職金	2	9
特別損失合計	39	142
税金等調整前四半期純利益	130	540
法人税、住民税及び事業税	203	335
法人税等調整額	△183	△222
法人税等合計	20	112
四半期純利益	109	427
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	109	428



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	109	427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	652	△1,189
為替換算調整勘定	—	△4
退職給付に係る調整額	6	6
持分法適用会社に対する持分相当額	3	—
その他の包括利益合計	661	△1,188
四半期包括利益	771	△760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	771	△759
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,787	6,299	1,952	20,038	1,313	21,352	—	21,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	—	5	125	131	△131	—
計	11,792	6,299	1,952	20,044	1,439	21,483	△131	21,352
セグメント利益又は セグメント損失(△)	609	△29	36	616	40	656	△407	249

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業並びに不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△407百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△406百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,928	5,092	1,999	19,020	1,453	20,473	—	20,473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	—	1	122	123	△123	—
計	11,929	5,092	1,999	19,021	1,575	20,597	△123	20,473
セグメント利益	982	6	27	1,016	140	1,157	△389	768

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業並びに不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△389百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△389百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。